

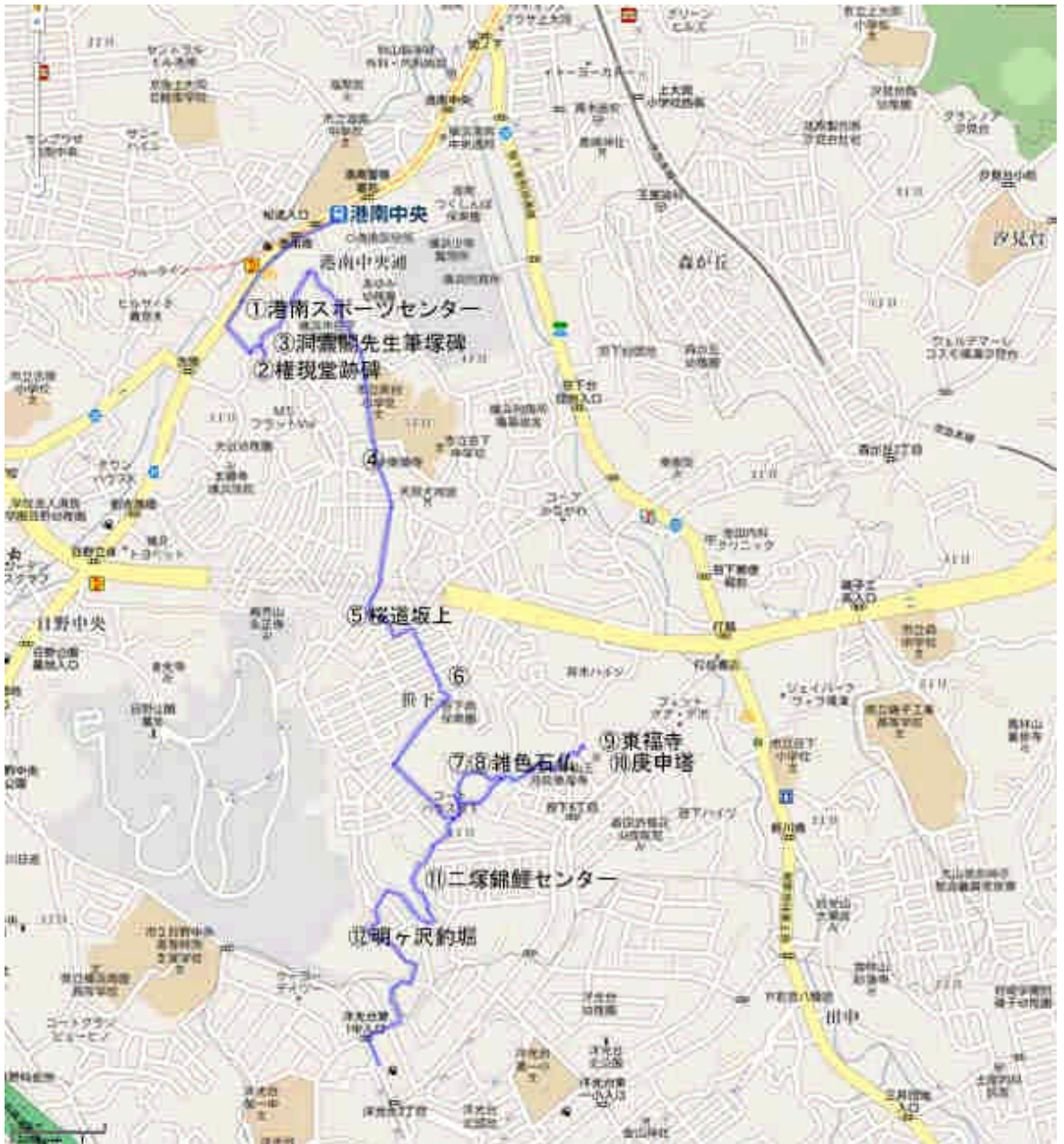
「第 39 回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 17 年 3 月 5 日 9 : 00 ~ 12 : 00

(2) コース : 笹下城周辺探索 (港南中央 ~ 洋光台)

港南地区センター (港南 6-2) ⇒ 権現堂跡碑 (港南 6-5) ⇒ 洞雲閣先生筆塚碑 (港南 6-5 松本家宮司邸内) ⇒ 乗願寺 (港南 5-9) ⇒ 桜道坂上 (港南 5-9) ⇒ 笹下 6-20 ⇒ 旧家市村家 (笹下 6-6) ⇒ 雑色の農村集落 (笹下 6-4) ⇒ 雑色の石仏 (笹下 6-5) ⇒ 東福寺 (笹下 5-13) ⇒ 二塚錦鯉センター (笹下 6-9) ⇒ 笹下南西部丘陵 (笹下 6-39 付近) ⇒ 明ヶ沢釣堀 (笹下 6-38) ⇒ 洋光台通り (洋光台 2-14)



注 1 : 囲み数字 (例=③) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

2. 当日のスナップ

- ・この地域は古代遺跡とし「雑色・杉本章跡」・「中登台遺跡」。中世には「笹下城址」・金沢道、鎌倉道沿道に当り各時代交通の要衝としての役割を果たし、地域文化を高めてきました。
- ・洞雲閣先生寺子屋は笹下村に文化年間(1804~18)から明治新政府の新学制の始まる明治5年(1872)まで行われていました。
- ・笹下7-20の陣が台は新編武蔵風土記稿に「古、何人かが陣を敷きたる跡なるべし」とあります。この「陣が台」の西南側は公園墓地、東側には明ヶ沢(みょうがさわ)・後田・谷の東に字杉本の丘陵があります。
- ・笹下の西部の丘陵地帯を館山と言い、門構えの扁額に「立山」と書かれた額がかかっている旧家高田家が笹下六丁目にあります。もと館があった処であった処でしょうか。
- ・明ヶ沢の出口附近を馬攻め口と言い、笹下城の裏門即ち搦め手とされています。

(1) 港南スポーツセンター界隈

昭和30年頃、街道に沿って水田が続いていた。
この周辺には捺染工場が栄えていた。

ア. 港南スポーツセンター前



イ. 港南通7より室の木板方面



(2) 権現堂跡碑

碑は港南スポーツセンター裏、
清水公園前にある。

古文書が松本宮司宅に有



(3) 松本家宮司邸内にある洞雲閣筆塚碑

ア. 筆塚碑と資料保存庫
碑面裏に門人の名が



イ. 保存庫内の経櫃
寛政元年8月の記あり



(4) 乗願寺 (真宗高田派)

桜道の中程、花屋の隣に、現
在、本堂を港南6-10に建設中



(5) 桜道坂上より陣が台
前方の道を進んだ処が
陣が台

(6) 笹下6-20付近
ガードレール前に川
この辺りが間瀬口か？

(7) 雑色の農村集落
(笹下6-4)付近、家の周り
は生垣に囲まれている



(8) 雑色の石仏
(笹下 6-5)
馬頭観音像

(9) 東福寺 (浄土真宗 本願寺派 過って親鸞が3ヶ月滞在したと)
ア. 山門 四脚門 イ. 本堂と鐘楼 (右手)
門内右手に庚申塔がある



(10) 東福寺
ア、庚申塔
港南区最古

(11) 二塚錦鯉センター
酪農から養魚業に転換
建物は牧舎から転用

(12) 明ヶ沢釣堀 (笹下 6-38)
明ヶ沢に最奥にある、この急崖の
上が字滝ノ上で、ここに滝があった



以上